

脱炭素社会の実現に貢献 社員ファーストの福利厚生充実

株式会社日本空調北陸
代表取締役社長

西川 博志 氏



1977年10月の設立以来、空調設備サービス、太陽光発電事業などで業績を伸ばしていらっしゃいます。会社の概要をお伺いします。

エアコンがまだ普及していない時代に、空調設備の保守管理、冷暖房工事の設計施工を手がける日本空調サービス(株)の富山営業所が分離独立して誕生しました。北陸と新潟の4県で営業しています。

空調の点検や修理を行う「メンテナンス」、大きな病院などに常

駐して設備の作動状態を監視・点検する「運転管理」、建物設備の設計・施工や老朽設備の改修を行う「建設・デザイン」の3部門で、建物をゆりかごから墓場までトータルでサポートしています。

2050年までのカーボンニュートラル実現に向けクリーンエネルギーが注目される中、太陽光発電事業はいかがですか。

創業当初から“きれいにしよう日本の空を”をキャッチコピーに

掲げてきたのは、先見の明があったと思います。2009年に「エコ事業部」を立ち上げ、住宅の屋根へ太陽光発電を設置する事業に乗り出しました。2012年にFIT(固定価格買取制度)が始まると、メガソーラー建設バブルがおき、当社も昨年度時点で売上げが4倍にまで急成長しました。自社でも県内5カ所にメガソーラーを建設し、地域にクリーンエネルギーを供給しています。

近年は電気代の上昇に伴い、コスト削減とCO2削減につながる太陽光発電への需要が高まり、施工が増えています。

売上げの比率はどのくらいですか。

太陽光発電のエコ事業部が30%を占め、空調設備のメンテナンスが20%、運転管理が20%、そして建設・デザインが30%の割合です。今48期は売上高80億円を見込み、50周年となる再来年は100億円を目標にしています。将来的には北陸4県での年間売上げを300億円に拡大し、北陸ナンバーワンの建築設備総合エンジニアリング会社を目指します。

— 物心両面で環境整備 —

人材の確保においては売り手市場が続いています。

事業拡大にあたり人員が必要で、人材の確保と定着のため、物心両面の支援を充実させています。

人づくりは一番重要で、入社3~4年目を対象にしたリーダー研修を昨年からは始めました。現場には若い社員が多く、初めての仕事がかかります。その社員をサポートしながら育てるリーダーが一番大変で、力をつけながらさらにスキルアップできるよう教育体制の

構築に力を入れています。私も講師となって講義します。社員との距離が近くなるよう、コミュニケーションを大切にしています。

女性の登用はどうなっていますか。

かつては男性ばかりだった建設現場に女性が増えてきました。現在、女性の現場監督が9人います。また、4月に入社する新入社員の半分は女性です。トイレ問題を解消するため、現場の女性用トイレは格段にきれいなものになっています。

建築現場はコミュニケーションが大切なので、女性と男性をバランスよく配置して、協調性のある現場づくりを考えています。

日本トップクラスの福利厚生を整えていらっしゃるそうですね。

一番の目玉として、海外・国内のプランから選べる旅行の費用全額を会社が負担します。コロナ禍を除いて20年以上にわたって毎年実施しており、国内旅行の場合は家族分も会社が負担します。

ボーナスも年3回満額支給を40年以上続けています。スポーツカーの日産GT-Rニスモの社員貸し出しもあり、車好きにはたまらない車に乗ることができます。

昨年竣工した別館新社屋は、社員の心身の健康維持や交流を促す機能を充実させました。屋上では

バーベキューや、花火大会の日にはビアガーデンにして見物できます。多目的に使えるレクリエーションフロアには、社員からの要望を取り入れてランニングマシンや筋トレマシン、マッサージチェアを設置し、昼休みなどに活用されています。180インチの巨大ディスプレイのある会議室は毎月の全社営業会議で使うほか、シアタールームとして好きな映画を楽しむことができます。

手厚い施策です。

物価高騰に対して2023年1月にインフレ手当5万円を全社員に支給したところ、いくつかのニュース番組で全国に放送されました。そのときは、北海道から九州まで各地から就職の応募があり、採用につながりました。

入社3年以内の離職率は全国平均で約37%と言われますが、当社は数%にとどまっています。社員の平均年齢は35.1歳と若く、産休・育休を取得した女性社員の復帰率は100%、男性社員も育休を取得しています。

年初には全社員が集まる「新春の集い」を毎年、開いています。若い社員には仕事だけでなく、仲間意識を築けるよう、立山登山や天体観測のクラブ活動なども支援しています。社員を大切にする社

員ファーストの会社であることを採用活動でもアピールしています。

— SDGsの取組みを推進 —

今後の展望をお聞かせください。

ニーズが高まっている太陽光発電の設置から修理、改修など、すべてできることをPRし、既存設備も新しい機械へ入れ替えることで省エネ性能が向上してCO2の削減につながるメリットを伝え、カーボンニュートラルの実現に貢献しながら、北陸での売上げナンバーワンを目指します。

富山市とインドネシアのバリ州との都市間連携事業に2018年度から参加し、現地で低炭素都市モデルの実現に向け調査を行っています。太陽光発電の導入でCO2を削減し、当社のキャッチコピー“きれいにしよう日本の空を”から、“世界の空”をめざして、持続可能な脱炭素社会づくりに貢献します。座右の銘を教えてください。

先義後利が大事だと思います。良いことをすれば良いことが返ってくる因果の法則のように、先にお客様や社員に義や利益を与え、後から利益がこちらに入ってくる。利益ばかりを追いかけていたら誰もついてきません。道徳を重んじて初めて会社の利益がもたらされるものだと思います。

会社概要

株式会社日本空調北陸

創業：1977(昭和52)年10月
所在地：富山市稲荷元町1丁目1番11号
資本金：3,000万円
事業内容：管工事、電気工事、消防施設工事、建築工事、設備メンテナンス、運転管理、太陽光発電システム設計・施工ほか
従業員数：270名(2024年4月現在)
売上高：約80億円(2024年3月期)
事業所：富山支店、高岡営業所、金沢支店、福井営業所、新潟支店
URL：<https://www.nikku-hokuriku.co.jp/>

— 略歴 —

1961年11月生まれ。石川県出身。1982年(株)日本空調北陸に入社し、金沢営業所長、開発営業部長、2013年執行役員ソリューション営業部石川部長兼エコ事業部長、取締役、常務を歴任し、2022年5月から代表取締役社長。



年1回、全社員が一堂に会する「新春の集い」(2025年1月17日)